



WEEKLY REPORT

No.2930 2018年7月9日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>



インスピレーション
になろう

四つのテスト

The Four-Way Test

言は行これに照らしてから
Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
Is it the TRUTH?
2. みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

★ 点 鐘

菊池眞一郎会長

★ ロータリーソング

「奉仕の理想」「我らの生業」

司会川崎通夫S.A.A



★ ビジター紹介

野外劇「湊村反射炉物語」実行委員会

代表 磯崎 満 様

★ 出席報告

岡田 勝委員長
会員数 25名
出席者 13名
欠席者 11名
出席免除者 1名
出席率 54.1%

★ 会長挨拶

菊池眞一郎会長

ここ数日、TVのニュースで毎年この時期におこる大雨被害ですが、数年前にも常総市で大変な被害を被りました。今回も西日本の2府12県で大雨で今朝現在、亡くなつた方88名、行

方不明者57名が被害に遭われております。特に広島県は死者が36名と多く、愛媛県も20名と被害が集中しています。広島はさらに数年前、土砂崩れで多数の死者を出しておまりまして、建物を建てる土地（土壤）の問題とされました。今回も土砂崩れの被害が多くを占めており、後日また問題になるのではないかとされております。これも無理な開発、または土壤が適切でなかったことが原因では無いかという話も聞かれています。天災ではなくて「人災」という人まで出て来ておるところです。

最近は災害が何時どこでおこるか分からぬので、自分自身をリスクマネージメントするのも必要であると思います。地震があった時、大

雨があった時、浸水があった時等、本当に逃げ道の確保というのをしておいた方がよいのではないかと思っております。

★幹事報告

川崎 誠幹事



7月14日(土)に3つの行事が開催されます。1つ目は「ロータリー財団研究会」が筑西市ダイヤモンドホールで午前10時から開催されます。会長が出席されるとのことです。

2つ目はひたちなか市の「社会を明るくする運動」が開催され黒澤利勝会員に出席して頂く予定であります。

最後は当クラブの鬼澤会員の幸田商店さんの新しい建物の竣工式があるのでそちらは私が出席ということになります。

★委員会報告

国際奉仕委員会

磯崎 孝委員長



国際奉仕委員会からご報告いたします。先週お話ししたのですが、台湾基隆ロータリークラブの創立65周年のイベントの件でございます。先方から案内文も届いておりますのでご紹介します。

2018年7月1日

那珂湊ロータリークラブ

会長 菊池眞一郎様

幹事 川崎 誠様

国際奉仕委員長 磯崎 孝様

拝啓 立夏の候 貴クラブに於かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。又弊社では皆様方の常時のご愛顧に厚く感謝申し上げます。

まずは去る10月、貴地ご訪問の時に、ご親切にお迎えをいただきて、とても感謝しております。

去年、貴クラブの今秋の台北来訪予定日をお知らせくださいまして誠にありがとうございます。心から歓迎申し上げます。

さて、前にも申し上げましたように、来る11月16日は弊基隆クラブ創立65周年記念並びに認証式典を運びになっておりますので、友好社の貴クラブより大勢な皆様のご来訪を心から期待しております。

ご多忙な皆様には誠に恐縮ではございますが、万障おくりり合わせ下さいまして、ぜひともご来臨賜りますよう謹んでお願ひ申し上げます。

それゆえ、早速「11月15日来台から基隆入りまでの旅(日)程」をご提案させて頂きます。もちろん、他にご希望があれば、その旨お知らせ下さい。

最後になりましたが、貴社全社員のご健康とご発展をお祈り申し上げます。 敬具

基隆扶輪社

社長 林 昌熾 Lance

幹事 蔡 定昌 David

★卓話「湊村 反射炉物語」

野外劇「湊村反射炉物語」実行委員会

代表 磯崎 満氏



このような貴重な機会を与えて頂きましたありがとうございます。

私は今年の1月まで水戸の茨城高等学校で教鞭を執っておりました。しかし他に2つの顔を持つようになりました。一つは「貢濱閣復元研究会」の副会長という顔と、また今年8月に開催する野外劇実行委員会代表という顔です。貢濱閣の方は10年ばかり関わりまして、最終的には湊支所の展示室に模型を作って展示して、一応の活動は出来たのかなとは思っております。もう一つの野外劇のことなのですが、何で始めたかといいますと、湊の八朔祭りに関係があるんです。私も八朔祭りの釧迦町氏子会の相談役をやっていて、お祭りも2年に1回という事になって、今年は社頭祭ということで仕方の無いことだと思いますが、この時期に何か盛り上がるものはないかななどということでした。7月には湊フェスタも開催されるということでしたが、もう一つ何か出来ないかということでした。実はかねがね考えていたのは、さっきの歌の詞は私が作ったのですが、あの歌詞の中に大体の意味が込められています。



皆さんはすでにご存じのように江戸時代というのは湊村というのは水戸藩の財政を支えた大変な豪商の町で、俗に言うところの「西の大坂、東の那珂湊」というぐらいの回船業で栄えたところです。宮城の石巻から平潟通して湊から潤沼川、潤沼、海老沢、上陸して北浦から利根川、再上陸して関宿から江戸川を下って江戸に物資を運ぶというルートでした。江戸初期は仙台藩の米が江戸の庶民の消費量の1/2を占めたというぐらいで、伊達の物資流通の起点になったことも、またその後、水戸藩の非常に重要な部署になっていたと言われます。

幕末においても湊の反射炉というのは日本で4番目に作られたものなんです。佐賀鍋島が1基目、2番目が薩摩、3番目が天竜葦山で、4番目が湊の反射炉です。作る時に水戸藩は大変

な貧乏藩でありまして、作るにあたって幕府から1万両借りました。またここ湊には木内家という大変な豪商がおりまして、その方が残りを出したと聞きます。

反射炉というのはいわゆる大砲鋳造、これは徳川斉昭の政策のうちの海防政策であります。地政学的に江戸を守るために水戸藩というのは非常に重要な位置になっていて、海防政策で反射炉を作る。しかも3年弱ぐらいで作ってしまいました。当時の設計図というのはヒューゲンという人のオランダ語で書かれたものです。それを読むために蘭学者が来ました。南部藩士大島高任（おおしまとかとう）、三春藩士熊田嘉門（くまだかもん）、薩摩藩士竹下清右衛門（たけしたせいうえもん）という蘭学者の指導の下に宮大工の飛田与七さんが薩摩藩に行って建設を学び2年弱ですぐ戻され、反射炉を作り大砲を作ったわけです。

現在の反射炉は昭和12年に復元されたもので当時の関一（せき はじめ）さんという湊商業の英語の教師がご尽力なさって、深作貞治さんが大きなお金を出します。湊商業出身で、日大の法学部から弁護士になり東京弁護士会の会長にもなられた方です。当時はあそこは陸軍省の土地でそれを買い受け復元する訳でありますが、元々は今の那珂湊高校の弓道場のところに建っていました。ところが湊商業の方が先に出来ていたため今の位置に下がったということです。見れば分かると思うのですが、真ん中のところに東郷平八郎の絶筆の碑があります。「護國」と掘られた石碑です。元々はあの二つの煙突はくつついていたのです。二つの塔で岩手釜石から送られてきた「銑鉄（鉄鉱石から直接製造した鉄で不純物が多い）」を5日間溶かし、いわゆる反射炉=溶解炉というのですが=でさらに優良な鉄を生産します。しかしながら純粋な「鉄」を作ることは出来ません。そして二つの塔から一つの大砲を作り上げるわけです。松の木の枠に砂を入れまして松ヤニで固め、その中に大砲の鋳を流すんです。それは単なる砲身です。それを柳沢にあったの「水車場」に持っていくて、水力で中を割り貫くんです。約4~5ヶ月はかかったと思うんですが、そうやって大砲を作ったと言われています。

出来た大砲を江戸に納入する訳です。で、江戸から飛田与七さんが帰ってきたら水戸藩内の抗争が始まってました。天狗・諸生の乱ですね。その中で1864年の8月16日那珂湊の戦いと言

われる戦い、天狗派が大洗の祝町から砲撃してきました、湊側(書生派)も湊公園から打ち返す。この戦いで反射炉は倒壊し、湊公園にあった賓賓閣は書生派の牙城でしたが、火をつけて消失させてしまいました。その後書生派は撤退して最終的には部田野の戦いになりました。部田野・平磯全域を含む大戦場です。ここ湊村は火災で2/3ぐらい燃え尽きました。そこら中に遺体がゴロゴロしたり、部田野の原では首を切り、それを塩漬けにして水戸城に運び出したということです。すると胴体だけの死体が累々とするわけです。しかもそのまま放置されました。それがカラスとか野犬とかに食い尽くされたそうです。それを気の毒がった村の人々が、首塚という形であそこに鎮魂したとされます。

それから先ほどお話ししましたが、昭和12年に反射炉を再現する際にも人骨がいっぱい出てきた。それで慰靈堂を建てた。あれは元々、湯浅正左衛門さんといって栄町の天富士さんの前に住んでいらっしゃった方が寄付した物なんです。大変な大地主で人骨がたくさん出た、そこで慰靈堂を寄付をしたと言われています。ここ湊の方というのは非常に鎮魂するという風土があります。これは町の産業の漁業と大きく関係しているのではないかと思います。そして幕末天狗・書生の乱、第二次大戦後の湊の大戦、その焼け野原から再生し、そして最終的には水産加工団地に代表される加工船は日本一だとうところまでできている訳です。

しかしながら町の真ん中を見ると、閉店しシャッターが閉まった状態の店舗が数多く見受けられるようになりました。そのことも含めて、今回湊公園を何か使えないかなということで野外劇を構想しました。初めは皆さんに「無謀だ」と言われました。「こんなのが出来るわけがない」と散々でした。脚本家が決まり、演出家が決まり、役者を公募したんです。役者の条件が厳しいんです。稽古が40回うち土日は6時間です。平日が3時間、それをこなし出来る人ということで公募しました。集まるんだろうかという不安をよそに、ゴツツリ集まりまして、北は高萩、

日立、水戸、ひたちなか市は8人です。湊地区が4名、全部男性です。中に磯崎前会長のご子息もいらっしゃってくれました。忙しいとは思うのですが、「何で?」と伺ったら「元々自分で演劇が好きだった」という回答でした。お父様にも伺ったら「そうだ」ということでした。ご子息は何かあの辺を「日本遺産」に認定したいという考えがあるようです。湊公園から湊一小、小学校は文武館といつて水戸藩領の最大の郷校なんです。頂点が水戸の講道館です。講道館の15の郷校の内の一一番大きな所です。そして反射炉と。ですから光圀の賓賓閣、斎昭の文武館・反射炉という近世の遺産群なので何とかここに光を当てて、もう一度町の中を活性化しようと考えている訳です。

出演者の話に戻りますが、勝田地区から4名、年齢から言いますと下は小学校4年生から、上は83歳の方まで参加して今、稽古に励んでいます。あと17回稽古が残っているのですが、ほぼ仕上げの段階に入ってきました。実はNHK水戸放送局が非常に関心を示してくれまして、昨日奥貫さんと言って夕方6時から放映している「いば6」の女性のキャスター、の方方が来まして取材を受けました。8月5日の日にTVカメラで取材をし、11日・12日が公演ですので6日から10日の間で「いば6」で放送されることになりました。NHK水戸放送局、大変関心を持っているとのことでしたので大変心強いことだと思いました。

先ほど申し上げましたが、今舞台の方は仕上げの段階ということで演出家はカリカリとして、やるならきちっとしたモノをやりたいという気持ちが演出家にもあり、厳しい指導をしています。出演者はすべてノーギャラ、ノーパンティアです。もちろんわれわれ実行委員会も手弁当ですがロータリーの岡田さんが中心となって事務局の方、色々とご助言いただいております。ぜひご支援の程お願いしたいと思います。

以上です。ありがとうございました。



インスピレーションになろう
Be The Inspiration
2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」